

---

---

# 日本経済展望

2020年2月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

---

---

## 目次

- ◆現状 . . . . . p. 1
- ◆景気分析 . . . . . p. 3
- ◆トピック . . . . . p. 6
- ◆見通し . . . . . p. 7
- ◆内外市場データ . . . . . p. 9

### 調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	村瀬 拓人	（ Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp ）
現状分析	高川 純一	
企業部門	成瀬 道紀	
家計部門	室元 翔太	
外需・金融	北辻 宗幹	

- ◆本資料は2019年2月3日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。
- ◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記urlから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。  
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。  
<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

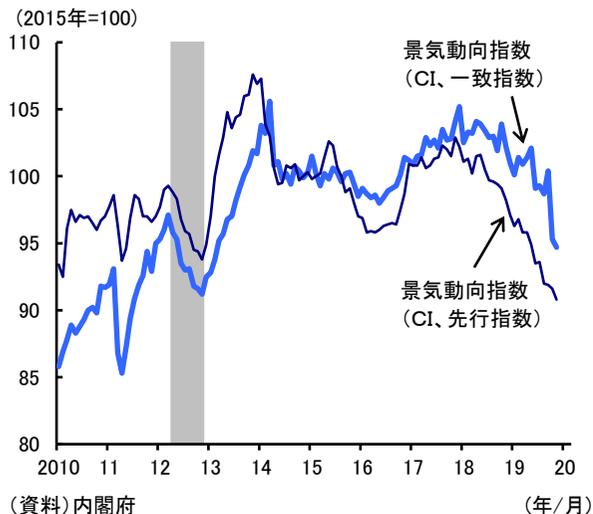
経済・政策情報メール  
マガジン配信中！



# 概況：景気に足踏み感

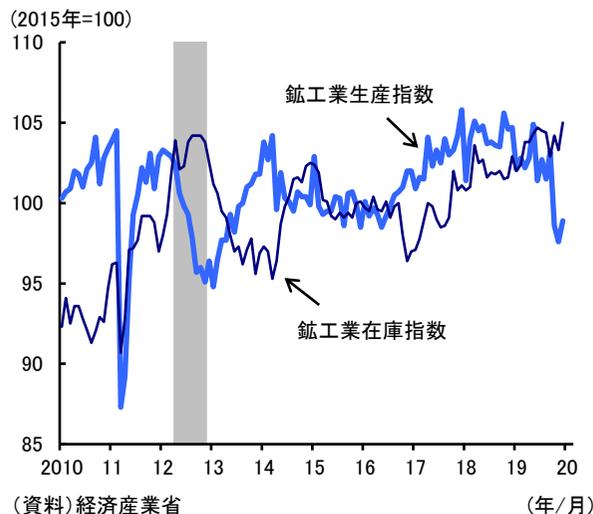
## 景気

景気動向指数は、一致指数、先行指数ともに低下傾向が持続



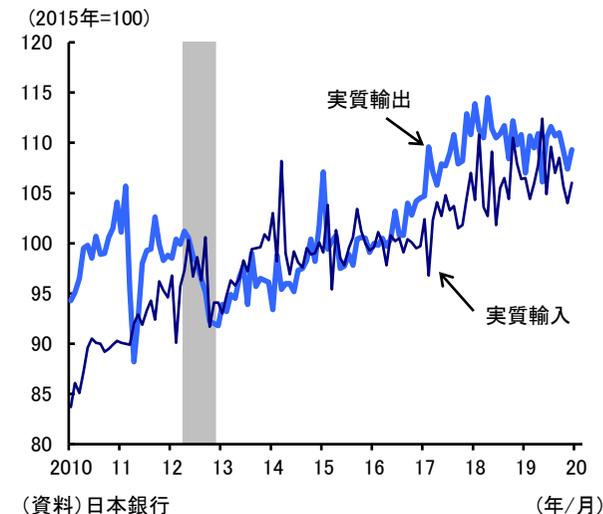
## 企業

鉱工業生産指数は、災害からの挽回生産などにより、資本財を中心に3ヵ月ぶりに上昇



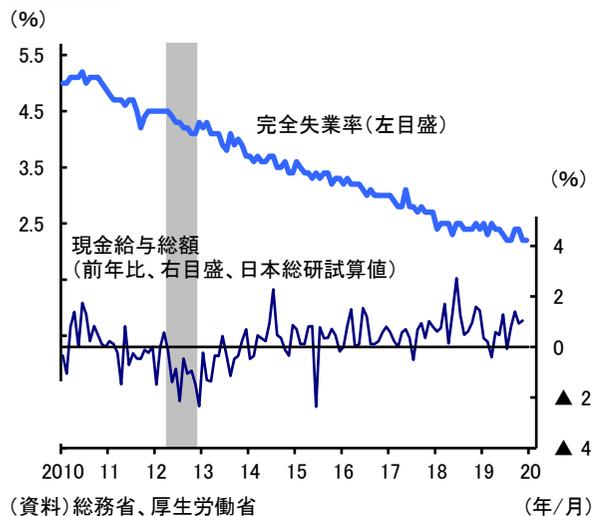
## 外需

輸出は米国向けを中心に低調に推移 輸入は携帯電話を中心に増加



## 雇用所得

失業率は1992年以来の低水準圏 名目賃金は振れを伴いつつ増加基調



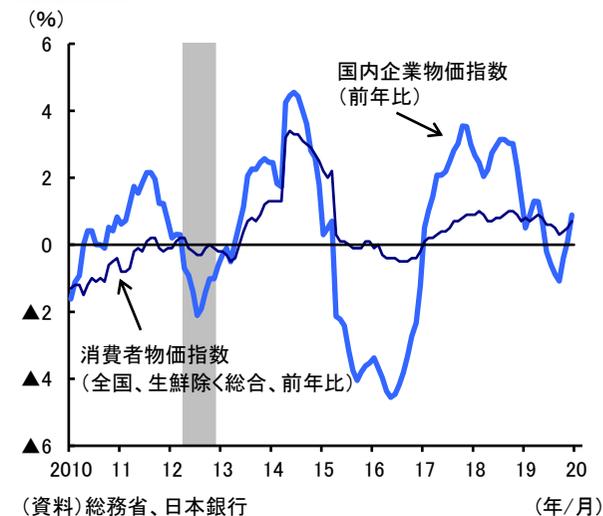
## 家計

実質消費は増税直後の大幅減から小幅回復 住宅着工は持家を中心に減少



## 物価

企業物価は石油製品を中心に持ち直し 消費者物価の伸びは概ね横ばい



※シャドー一部は景気後退期

# 外需の弱含みが続く一方、内需は持ち直し

## ◆輸出は低迷

実質輸出は低迷が持続。中国向けは半導体製造装置を中心に持ち直しが続く一方、米国向けの自動車や欧州向けの一般機械などが大きく下振れ。

## ◆鉱工業生産は小幅回復

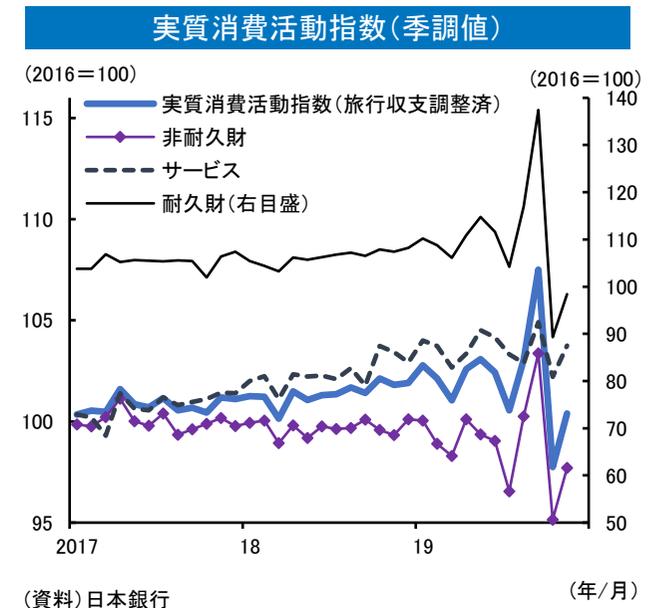
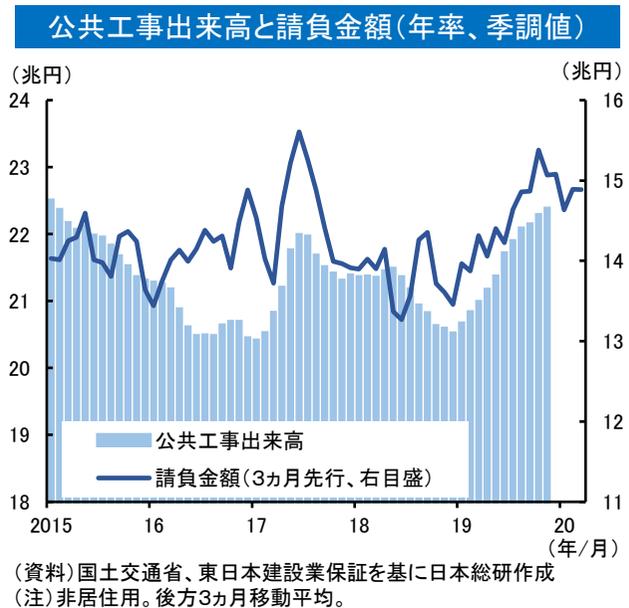
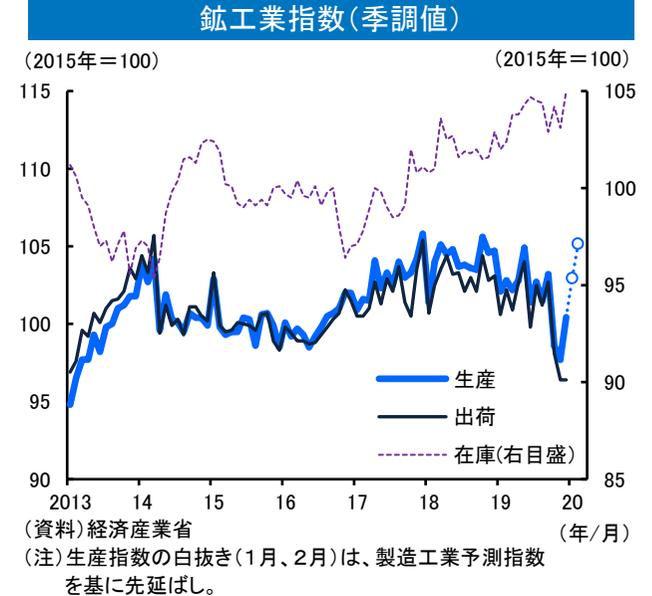
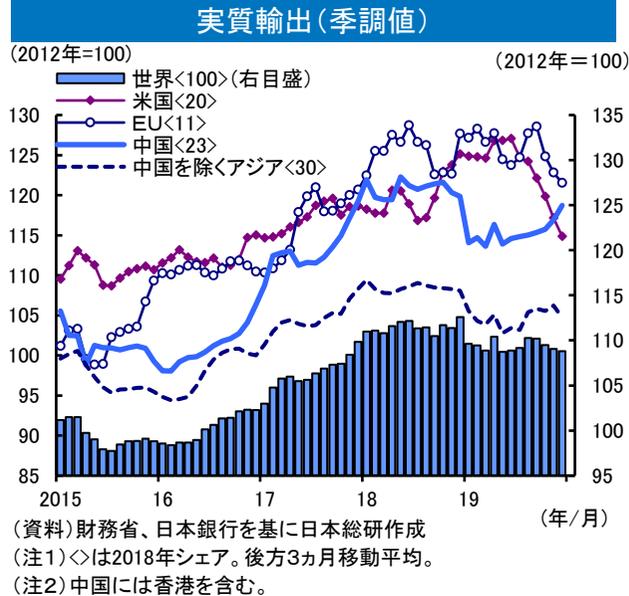
2019年12月の鉱工業生産指数は、前月比+1.3%と3ヵ月ぶりの上昇。台風に伴う生産停止からの挽回生産もあり、生産用機械工業などが大幅に増産。先行きの生産計画は、1月が+3.5%、2月が+4.1%と大幅な増産が見込まれているものの、新型コロナウイルスの影響が懸念されるなか、下方修正される可能性あり。

## ◆公共投資は堅調

公共投資は、消費増税に備えて積み増しされた公共事業の執行が本格化するなか、増加傾向。先行指標である公共工事請負金額は、足許で増勢が一服しているものの、2019年度の補正予算の成立を受け、今後は再び増加する見通し。

## ◆家計部門は持ち直しの動き

雇用・所得環境は改善傾向が持続。12月の失業率は2.2%と、1992年以来の低水準圏で推移。有効求人倍率も1.57倍と、労働需給は引き続き逼迫。個人消費も、11月の実質消費活動指数が前月比+2.7%の上昇となるなど、消費増税や台風の影響による大幅な下振れから持ち直し。



# ■輸出は、財・サービスともに力強さを欠く動き

## ◆財輸出は低調に推移

財輸出は2019年入り後、低迷が持続。世界的な半導体市場の底入れを受け、電子部品・デバイスが増加する一方、輸送機械が大幅に減少。輸送機械の輸出を地域別にみると、米国向けは、日本から輸出していた完成車の現地生産シフトを背景に、大きく減少したほか、中国以外のアジア向けも、現地市場の販売低迷を受け、低調に推移。

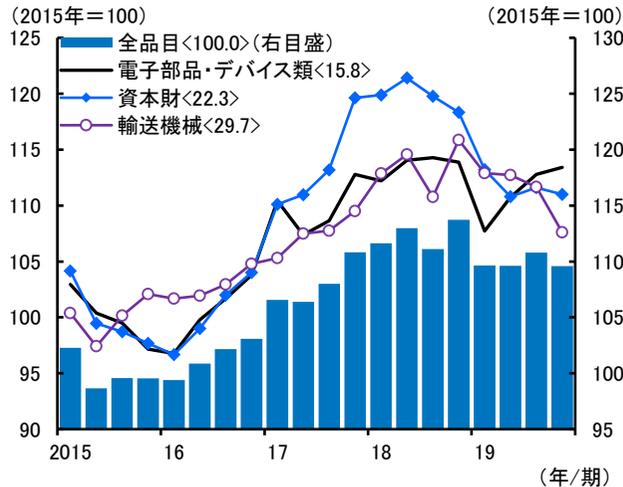
先行きは、世界景気が全般的に勢いを欠くなか、財輸出全体の力強い回復は期待し難い状況。もっとも、半導体市場の持ち直しに加え、抑制基調が続いていた世界的な設備投資動向も、足許で改善の兆し。今後は、電子部品や資本財を中心に、やや持ち直す見込み。

## ◆インバウンドは低迷が持続

2019年12月の訪日外客数は、訪日韓国人の低迷が続き、前月比▲1.4%の減少。

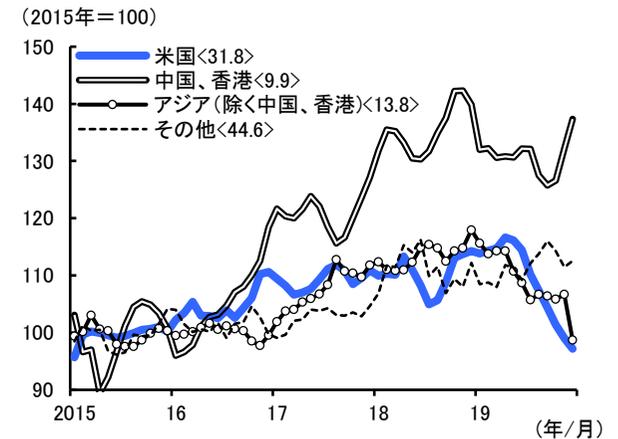
先行きは、訪日韓国人数の低迷長期化に加え、新型肺炎の流行拡大もインバウンド消費を下押しする見通し。2003年のSARS流行時には、感染拡大の中心だった中国、香港、台湾からの訪日客が一時的に半減。仮に今回の局面で、中国からの訪日客が半減した場合、日本のインバウンド消費全体の約2割が減少する計算に。

品目別の実質輸出(季調値)



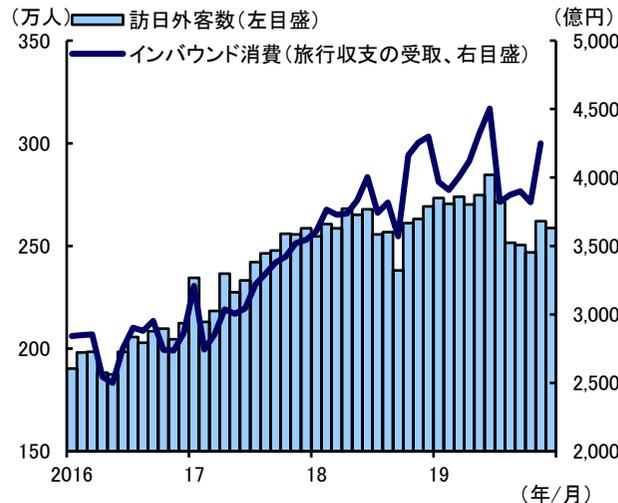
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注)◇内は、2018年名目輸出全体に占めるシェア。

輸送用機械の地域別実質輸出(季調値)



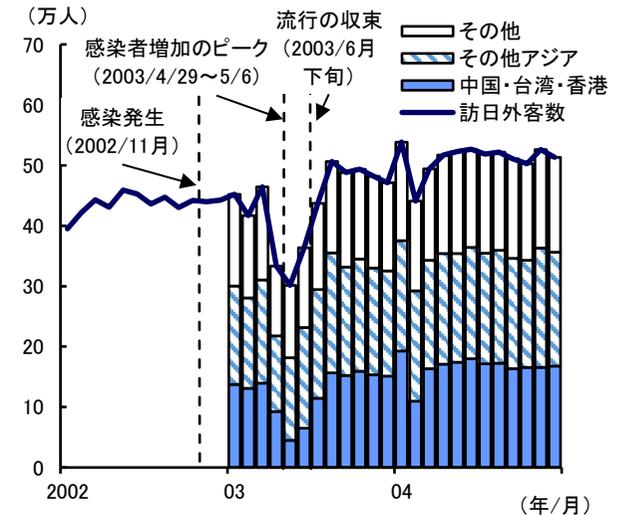
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注1)◇内は、2018年名目輸出全体に占めるシェア。  
(注2)後方3ヵ月移動平均。

訪日外客数とインバウンド消費(季調値)



(資料)財務省、日本政府観光局を基に日本総研作成

SARS流行時の訪日外客数(季調値)



(資料)日本政府観光局を基に日本総研作成

# 企業収益は足踏みも、設備投資は増加基調

## ◆企業収益は足踏み

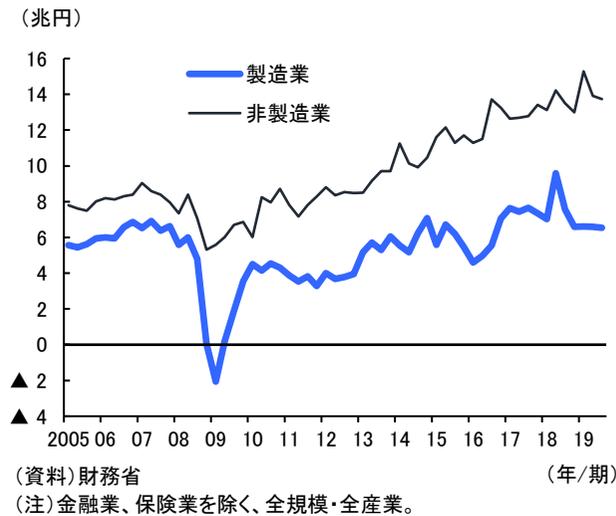
企業収益は高水準を維持しつつも、このところ弱含み。法人企業統計季報によると、2019年7～9月期の経常利益は、前期比▲1.1%と2四半期連続の減益。製造業は、世界的な設備投資の減速を受けて、鉄鋼、化学などの素材関連や、生産用機械、情報通信機械で収益が悪化。非製造業では、消費増税前の駆け込み需要を受けて小売業が増益となったものの、携帯電話通信料金を引き下げた情報通信業のほか、訪日韓国入客減少の影響を受けた宿泊・飲食業などで減益に。

10～12月期の企業収益は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や、大型台風など相次ぐ自然災害により生産・販売が下振れた影響で一段と減少するものの、その後は、増税などの影響の一巡に伴い回復に向かう見込み。

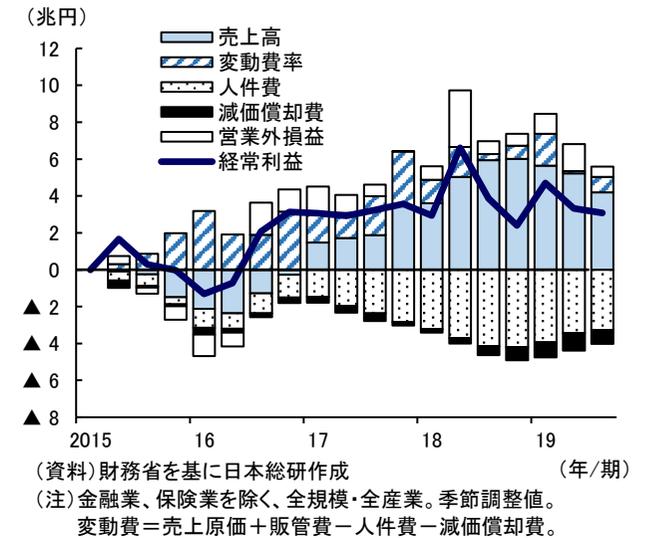
## ◆設備投資は増加基調

一方、設備投資は、増加基調が持続。7～9月期の設備投資（ソフトウェア除く）は、製造業、非製造業ともに増加。人手不足を背景とした合理化・省力化投資や、老朽化に伴う維持・更新投資が堅調であり、先行きも増加基調が続く見通し。

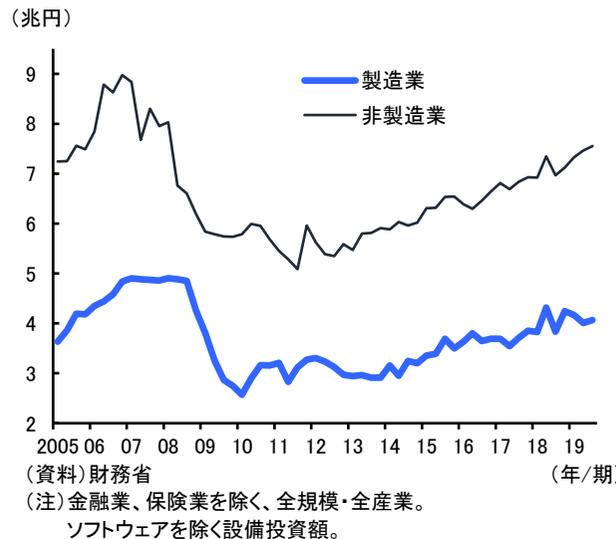
### 法人企業の経常利益(季調値)



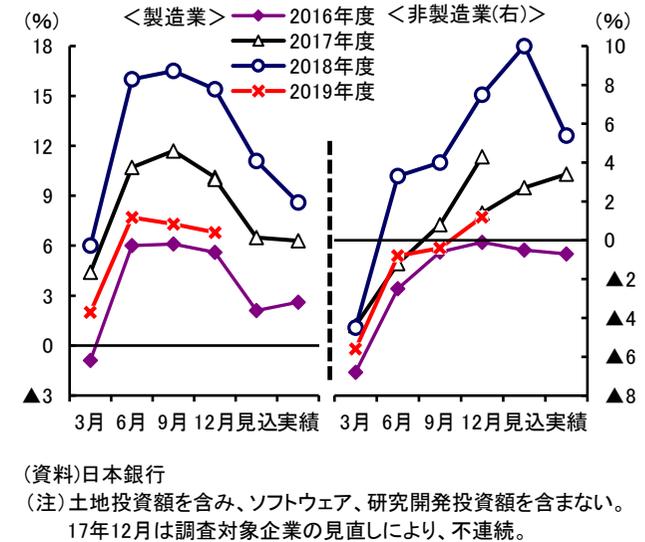
### 経常利益の要因分解(2015年Q1対比)



### 法人企業の設備投資額(季調値)



### 設備投資額の修正状況(全規模、前年度比)



# 個人消費は消費増税を乗り越え緩やかに回復

## ◆増税直後は悪化も、徐々に持ち直し

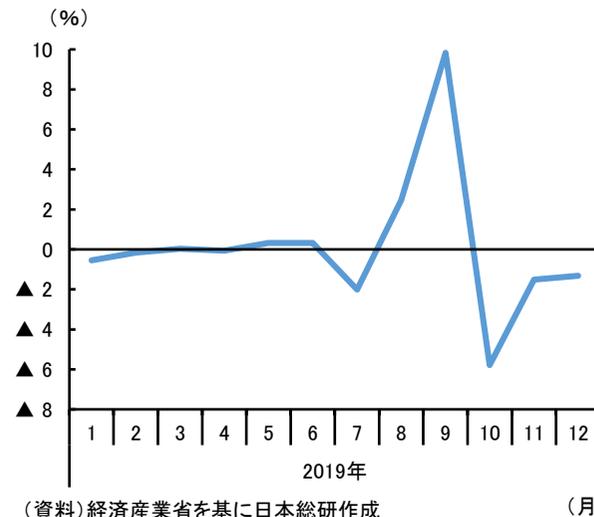
小売販売は、消費増税直後の昨年10月には、駆け込み需要の反動減に加え、台風による店舗の臨時休業や工場の操業停止による供給不足などの下押し要因が重なったことで、大幅に減少。もともと、11月以降はやや持ち直しの動き。

業態別にみると、自動車は、被災した工場の生産再開に伴い、増税前年の水準を回復。百貨店や家電も、暖冬の影響でエアコンや冬物衣料などの販売不振が重石となっているものの、減少幅は10月に比べ縮小。

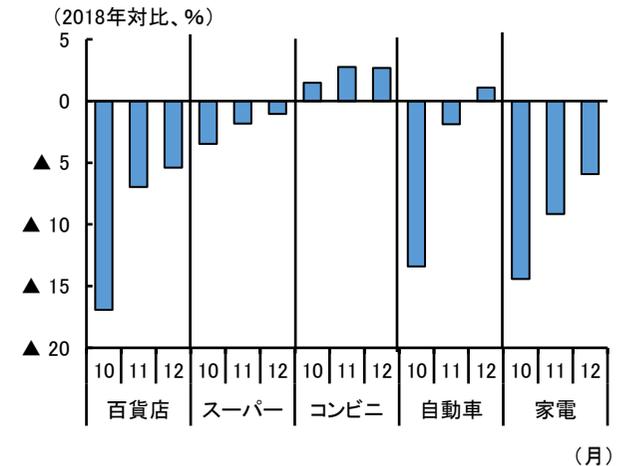
## ◆増税の影響を乗り越え、緩やかに回復

先行きを展望すると、駆け込み需要の反動減や暖冬の影響などが剥落するに従い、個人消費は緩やかな回復基調に復する見込み。駆け込み需要の規模は、前回2014年の増税時の4割程度と大きな需要の先食いが生じていないことから、反動減が長期化する可能性は小。さらに、増税後の消費者物価をみると、軽減税率の導入や幼児教育・保育の無償化などの負担軽減策が導入されたことで、消費増税にもかかわらず上昇は限定的。人手不足を背景に名目所得の増加基調も持続。増税後も実質所得はプラスを維持しており、消費低迷の長期化は避けられる見通し。

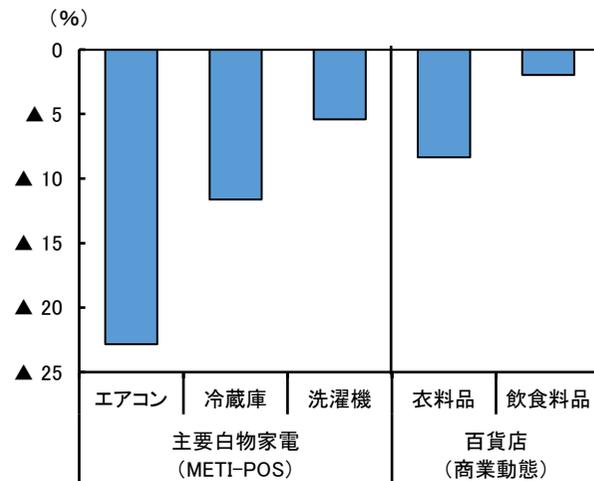
小売業販売額（2018年比）



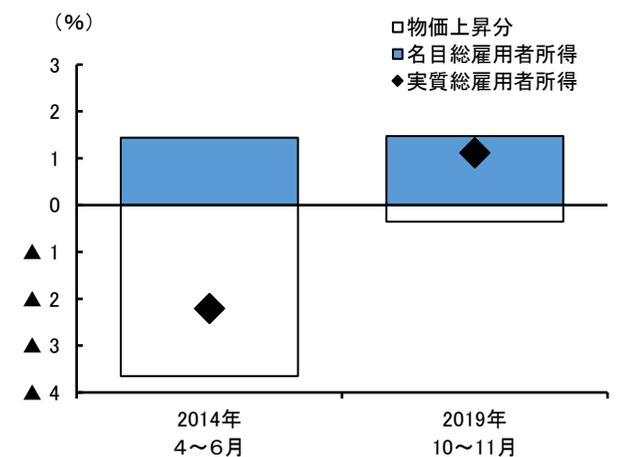
増税後の業態別小売販売（2019年）



業態別・財別販売額（2019年11～12月、前年比）



増税後の実質所得（前年比）



# トピック：生産活動が停滞するなかでも堅調な製造業雇用

## ◆技術職と生産工程従事者が牽引

2019年入り後、わが国製造業の生産活動は落ち込んでいるものの、雇用者数は増加傾向が持続。

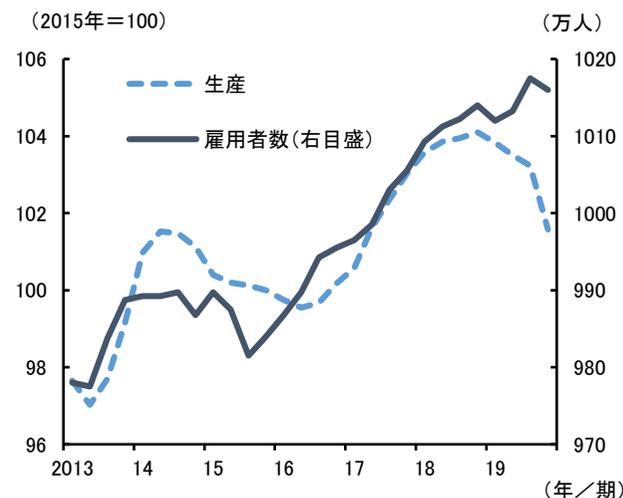
2019年度上期の就業者数増減を職業別に見ると、増加は専門的・技術的職業が牽引。AIやIoTなどの新技術への対応を迫られた企業は、生産の一時的な低迷に影響されずにデジタル人材の確保に奔走。

また、生産工程従事者が、生産との連動性が高い職業であるにもかかわらず増加。背景として、働き方改革による労働時間短縮が指摘可能。生産工程従事者の総労働投入量を一人当たり労働時間と従業者数に分解すると、2019年度上期は労働時間が生産の落ち込みを超える減少に。生産水準を維持するため、追加の労働者確保に動いた企業が多かった模様。

## ◆今後も雇用は増加が続く見込み

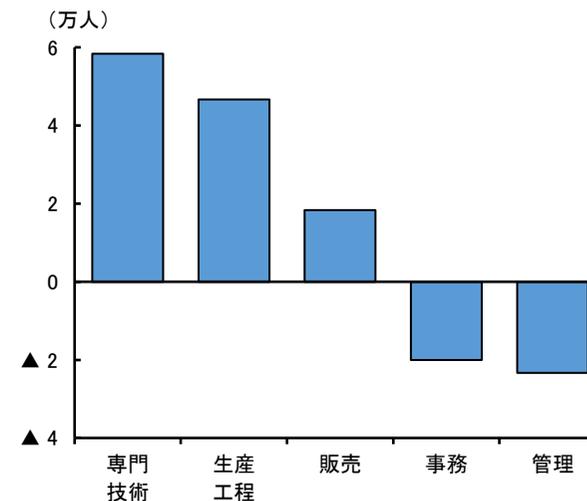
先行きを展望すれば、輸出の低迷が長期化する産業で、一時的な雇用調整が生じる可能性があるものの、デジタル化に向けた専門人材へのニーズが強いことから、製造業の雇用が大きく崩れる可能性は小。加えて、2020年4月に時間外労働の上限規制が中小企業に適用されることも、雇用者数を押し上げる見通し。中小製造業企業の長時間労働者比率は8.0%と高く、大企業を上回る人員増強が必要となる見込み。

製造業の生産と雇用者数



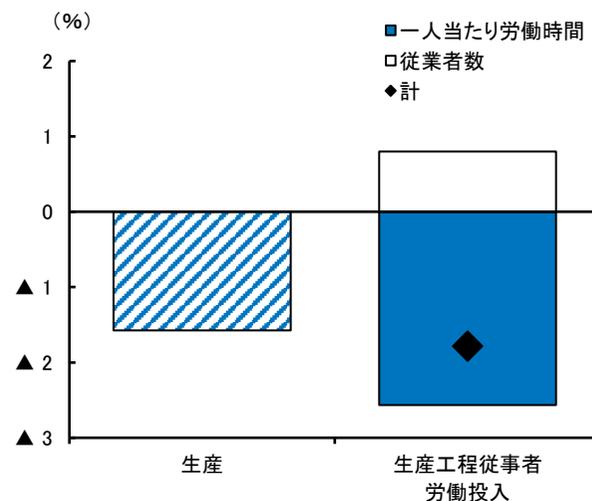
(資料)総務省、経済産業省を基に日本総研作成  
(注)後方4四半期移動平均値。

職業別就業者数(2019年度上期、前年差)



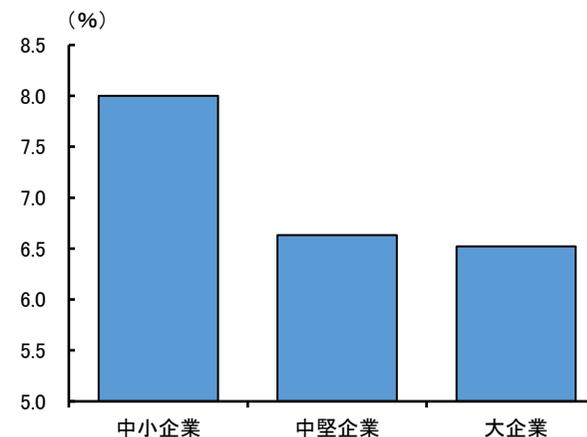
(資料)総務省を基に日本総研作成

生産と労働投入(2019年度上期、前年比)



(資料)総務省、経済産業省を基に日本総研作成

長時間労働者比率(2018年度)



(資料)総務省を基に日本総研作成  
(注)週35時間以上に占める週60時間以上労働者の割合。  
中小は100人未満、中堅は500人未満、大企業は500人以上。

# 消費増税を乗り越え緩やかな回復が持続

## ◆景気は緩やかに回復

先行きを展望すると、景気は再び緩やかな回復軌道に復帰する見通し。

輸出は、世界的なIT需要の底入れや、設備投資抑制姿勢の緩和がプラスに作用することで、緩やかに持ち直す見込み。

一方、企業の設備投資は、人手不足や働き方改革、IT技術の活用などを背景に、情報化投資や研究開発に対する積極姿勢が続く見通し。輸出の減少に歯止めがかかることも、製造業の投資マインドにプラスに作用。

## ◆個人消費の低迷も長期化は回避

個人消費も、前回2014年の消費増前時のような長期低迷は避けられる見通し。増税前の駆け込み需要の盛り上がりに限定的だったことから、大きな需要の先食いは生じていないほか、増税後も家計の実質所得がプラスを維持するなど、家計の負担増も限定的。駆け込み需要の反動減などが一巡するにつれて、個人消費は再び緩やかな増加基調に復帰する見通し。

ただし、新型肺炎の流行により、足許の景気下振れは不可避。現時点では下振れのインパクトは不透明ながら、仮に訪日中国人の大幅減少などが続けば、1～3月期の成長率は前期比0%まで下振れる可能性も。

## わが国主要経済指標の予測値(2020年1月30日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2019年		2020年				2021年				2022年	2019年度		
	7~9 (実績)	10~12 (予測)	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2019年度 (予測)	2020年度	2021年度
実質GDP	1.8	▲ 3.7	0.9	2.3	2.0	1.0	1.2	0.5	0.5	0.7	0.7	0.9	1.0	0.8
個人消費	2.2	▲ 6.9	2.0	2.4	0.0	1.2	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.4	0.4	0.8
住宅投資	6.5	▲ 5.1	▲ 3.8	▲ 2.9	0.0	0.8	0.0	▲ 2.0	▲ 1.2	0.0	0.0	2.3	▲ 1.6	▲ 0.6
設備投資	7.3	▲ 3.8	1.6	2.3	2.3	2.1	1.9	1.7	1.7	1.5	1.5	2.3	1.7	1.8
在庫投資 (寄与度)	(▲ 0.7)	(▲ 0.1)	( 0.1)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.0)	( 0.0)
政府消費	2.7	1.6	0.0	3.0	4.2	▲ 0.7	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.4	1.9	0.7
公共投資	3.6	2.0	0.0	2.6	5.9	7.7	2.2	▲ 2.9	▲ 3.8	0.0	0.3	3.3	3.5	0.0
純輸出 (寄与度)	(▲ 0.7)	( 0.8)	(▲ 0.5)	(▲ 0.1)	( 0.5)	(▲ 0.3)	( 0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.3)	( 0.0)	(▲ 0.0)
輸出	▲ 2.5	3.8	▲ 0.8	2.4	3.8	▲ 0.6	1.9	2.0	2.0	1.8	1.6	▲ 0.9	1.5	1.7
輸入	1.3	▲ 1.0	2.0	2.8	0.8	1.0	1.7	2.4	2.4	1.9	1.9	0.8	1.4	1.9

(前年同期比、%)

名目GDP	2.3	2.4	1.3	1.3	1.3	1.7	2.0	1.6	1.3	1.2	1.1	1.8	1.6	1.3
GDPデフレーター	0.6	1.7	1.1	1.0	1.0	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.6	0.5
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.5	0.6	0.8	0.8	1.0	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	0.7	0.8
(除く生鮮、消費税、教育無償化)	0.5	0.3	0.4	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.9	0.5	0.6	0.8
鉱工業生産	▲ 0.8	▲ 6.3	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 0.2	4.0	1.3	0.5	0.7	0.6	0.5	▲ 2.8	0.9	0.6

完全失業率 (%)	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.2	2.1
経常収支 (兆円)	5.69	2.60	5.95	4.57	5.76	3.82	6.07	4.36	6.28	3.40	5.94	20.22	19.98	17.04
対名目GDP比 (%)	4.3	2.6	4.4	3.1	4.5	2.3	4.2	2.6	3.9	1.8	3.6	3.6	3.5	3.0
円ドル相場 (円/ドル)	107	109	109	110	110	109	108	108	108	108	107	109	109	108
原油輸入価格 (ドル/バレル)	66	66	66	65	68	68	68	68	68	68	68	67	67	68

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを  
基に日本総研作成

(注)2019年10～12月期のGDP(1次QE)の予測は  
反映せず。

## 海外経済の前提

(前年比、%)

	2019年	2020年	2021年
	(実績)	(予測)	
米国	2.3	2.1	2.0
ユーロ圏	1.2	1.2	1.3
中国	6.1	5.8	6.2

## 過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2019年度	2020年度	2021年度
	(予測)		
11月号	0.8	0.7	
12月号	0.8	0.7	0.7
1月号	0.9	1.0	0.8

# 物価は伸びを拡大、長期金利は再び小幅マイナス圏に

## ◆物価は伸びを拡大

2019年12月のコアCPI前年比は、消費税率引き上げや幼児教育無償化の影響を除くと、前月から上昇幅が拡大。原油価格の上昇を受けた、エネルギー価格のマイナス寄与縮小が主因。

先行きは、緩やかな景気回復に伴う需給面からの上昇圧力により、前年比+0%台半ば（消費増税や教育無償化の影響を除くベース）で推移する見通し。

## ◆短期金利は現行水準を維持

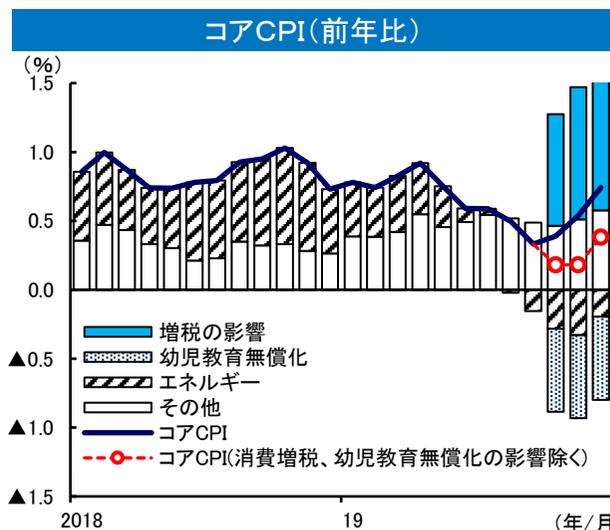
日銀は1月の金融政策会合で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利を0%程度とする枠組みのもとで、当分の間ある程度の金利変動を容認する姿勢。

先行きを展望すると、短期政策金利は、底堅い景気と為替相場の安定を見込むなか、金融機関への副作用などを考慮すると、当面は現行の▲0.1%を維持する見通し。

## ◆長期金利はマイナス圏まで低下

1月の長期金利は、中東情勢の緊迫化を背景に一時的に下振れる局面があったものの、中旬までは概ね0%近辺で推移。その後は、新型肺炎の感染拡大を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、約2ヵ月ぶりの低水準へ。

先行きは、主要中央銀行の金融緩和姿勢持続と、それを受けた各国長期金利の低位安定を背景に、現行の低水準での推移が続く見通し。



(資料)総務省を基に日本総研作成

## 日銀の景気・物価見通し(前年度比)

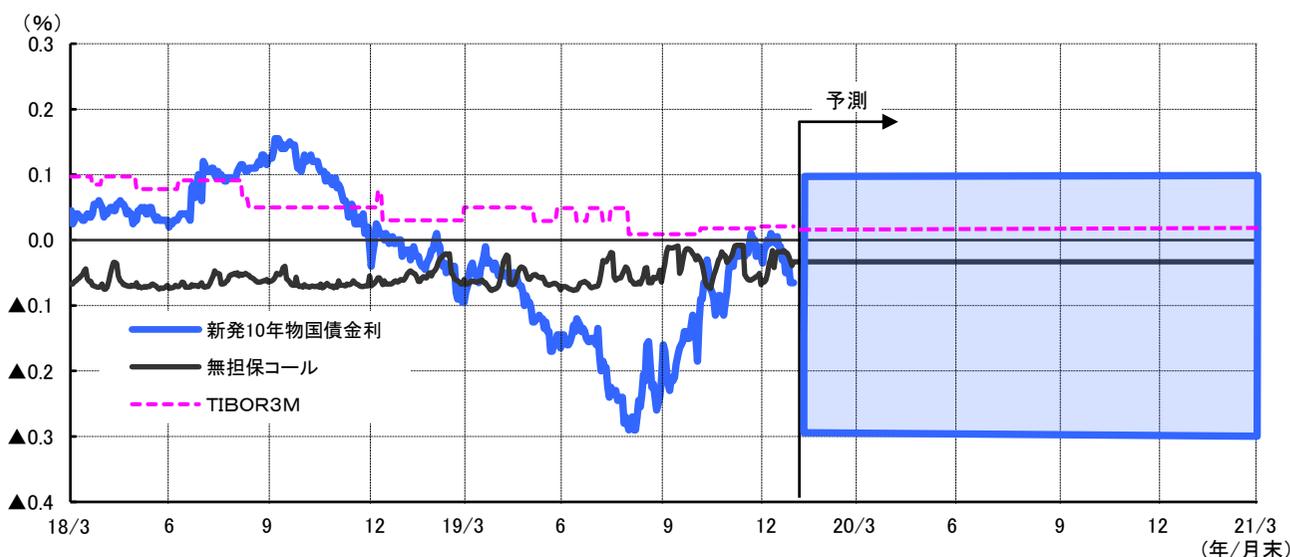
	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2019年度	+0.8~+0.9 <+0.8>	+0.4~+0.5 <+0.4>
10月時点	+0.6~+0.7 <+0.6>	+0.4~+0.6 <+0.5>
2020年度	+0.8~+1.1 <+0.9>	+0.9~+1.0 <+0.9>
10月時点	+0.6~+0.9 <+0.7>	+0.7~+1.1 <+1.0>
2021年度	+1.0~+1.3 <+1.1>	+1.2~+1.6 <+1.4>

(資料)日本銀行

(注1)<>内は中央値。

(注2)2019、2020年度の消費者物価は、消費税率引き上げ・教育無償化の影響を除く。

## わが国主要金利の見通し



# 内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担O/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.02	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.06	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.09	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52
18/6	▲ 0.07	0.08	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.13	0.04	1.48	1.00	110.13	128.55	22562.88	1762.48	1.82	2.33	2.91	24790.11	▲ 0.32	0.40
18/7	▲ 0.07	0.09	0.11	0.04	0.10	0.27	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	111.47	130.27	22309.06	1729.12	1.91	2.34	2.89	24978.23	▲ 0.32	0.36
18/8	▲ 0.06	0.09	0.11	0.05	0.13	0.33	▲ 0.11	0.11	1.48	1.00	111.03	128.22	22494.14	1721.03	1.91	2.32	2.89	25629.99	▲ 0.32	0.36
18/9	▲ 0.06	0.06	0.11	0.06	0.14	0.34	▲ 0.11	0.12	1.48	1.00	112.05	130.62	23159.29	1746.41	1.95	2.35	2.99	26232.67	▲ 0.32	0.44
18/10	▲ 0.06	0.05	0.11	0.06	0.14	0.35	▲ 0.12	0.14	1.48	1.00	112.79	129.49	22690.78	1703.85	2.19	2.46	3.16	25609.34	▲ 0.32	0.46
18/11	▲ 0.07	0.05	0.10	0.04	0.10	0.29	▲ 0.14	0.11	1.48	1.00	113.37	128.80	21967.87	1646.77	2.20	2.65	3.11	25258.68	▲ 0.32	0.38
18/12	▲ 0.07	0.05	0.09	0.01	0.04	0.20	▲ 0.14	0.04	1.48	1.00	112.17	127.60	21032.42	1565.86	2.27	2.79	2.83	23805.55	▲ 0.31	0.25
19/1	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.00	0.01	0.17	▲ 0.16	0.01	1.48	1.00	108.99	124.47	20460.51	1541.56	2.40	2.77	2.71	24157.80	▲ 0.31	0.22
19/2	▲ 0.06	0.03	0.09	▲ 0.02	▲ 0.01	0.15	▲ 0.17	▲ 0.02	1.48	1.00	110.46	125.32	21123.64	1592.61	2.40	2.68	2.67	25605.53	▲ 0.31	0.13
19/3	▲ 0.05	0.03	0.09	▲ 0.03	▲ 0.02	0.13	▲ 0.16	▲ 0.04	1.48	1.00	111.13	125.58	21414.88	1602.83	2.41	2.61	2.57	25722.62	▲ 0.31	0.06
19/4	▲ 0.07	0.05	0.10	▲ 0.02	▲ 0.01	0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	1.48	1.00	111.69	125.46	21964.86	1618.12	2.42	2.59	2.53	26401.58	▲ 0.31	0.01
19/5	▲ 0.05	0.05	0.10	▲ 0.03	▲ 0.02	0.12	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	1.00	109.98	122.99	21218.38	1547.17	2.39	2.53	2.39	25744.79	▲ 0.31	▲ 0.08
19/6	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.08	▲ 0.09	0.04	▲ 0.21	▲ 0.13	1.48	1.00	108.07	122.06	21060.21	1540.08	2.38	2.40	2.07	26160.10	▲ 0.33	▲ 0.27
19/7	▲ 0.07	0.04	0.11	▲ 0.09	▲ 0.10	0.03	▲ 0.20	▲ 0.14	1.48	0.96	108.25	121.38	21593.68	1573.16	2.40	2.29	2.05	27089.19	▲ 0.37	▲ 0.34
19/8	▲ 0.05	0.04	0.09	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.06	▲ 0.27	▲ 0.22	1.48	0.95	106.23	118.16	20629.68	1501.08	2.13	2.16	1.62	26058.23	▲ 0.41	▲ 0.63
19/9	▲ 0.06	0.01	0.06	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	▲ 0.29	▲ 0.22	1.48	0.95	107.51	118.34	21585.46	1579.13	2.04	2.13	1.69	26900.21	▲ 0.42	▲ 0.57
19/10	▲ 0.03	0.01	0.05	▲ 0.13	▲ 0.13	0.00	▲ 0.27	▲ 0.16	1.48	0.95	108.16	119.61	22197.47	1617.12	1.83	1.98	1.70	26736.80	▲ 0.41	▲ 0.45
19/11	▲ 0.05	0.02	0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	0.06	▲ 0.20	▲ 0.09	1.48	0.95	108.91	120.32	23278.09	1697.37	1.55	1.90	1.82	27797.05	▲ 0.40	▲ 0.33
19/12	▲ 0.04	0.02	0.05	▲ 0.01	0.01	0.11	▲ 0.12	▲ 0.01	1.48	0.95	109.11	121.26	23660.38	1724.59	1.55	1.91	1.86	28167.01	▲ 0.40	▲ 0.27
20/1	▲ 0.03	0.02	0.09	▲ 0.00	0.00	0.09	▲ 0.13	▲ 0.01	1.48	0.95	109.28	121.35	23642.92	1719.06	1.55	1.82	1.76	28879.99	▲ 0.39	▲ 0.27